



第1170号  
2010年6月20日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇堅信受領

6月6日 聖アンデレ教会  
▽園田健一(聖アンデレ)  
6月6日 聖オルバン教会  
▽ルーシー・リン・ガイエット▽  
サラ・メイイ・ホフマン▽ウイリ  
アム・リー・ホフマン▽ジョン・  
パトリック・チヒロ・ドネラン▽  
タツカー・クラジ・ドネラン▽ジ  
ョージ・サーバー・ルトン▽ジャ  
クリン・マリー・クリングマイヤ  
ー(聖オルバン)

◆とこしえの平安

5月7日 姉崎 貞子(95)  
大森聖アグネス  
5月17日 出頭 聖子(41)  
聖ペテロ

▽五本木九条の会《憲法を学  
ぶ》DVD『どうするアンポく  
日米同盟とわたしたちの未来』を

今週・来週の予定  
6月20日～7月3日

- 20(日) 聖霊降臨後第4主日  
主教巡回 聖オルバン教会
- 21(月) 教役者宿泊研修会  
(～23日)
- 22(火) 銀座朝拝会
- 24(木) 財政委員会  
公開説教
- 25(金) 正義と平和協議会  
運営委員会
- 26(土) フェスティバル連  
絡会
- 27(日) 聖霊降臨後第5主日  
主教巡回 聖ペテロ教会
- 28(月) ハラスメント防止  
委員会
- 29(火) (仮) 教区給食活  
動連絡会
- 30(水) プレ宣教協議会準  
備会

観ての学び。23日(水) 18時半、  
聖パウロ教会。照会☎090(8  
747)2153・同事務局。  
▽レクチャーコンサート『続  
くいのちと限りあるいのち』25  
日(金)17時15分、立教学院諸聖  
徒礼拝堂(立教大学池袋キャンパ  
ス)。講師||上田亜樹子司祭、Or  
||崎山裕子、指揮||スコット・シ  
ョウ、奉唱||同礼拝堂聖歌隊。無  
料。照会☎03(3985)278  
6・同大教会音楽研究所。

▽東京聖三一教会読書会 「現  
代人はキリスト教を信じられる  
か」ピーター・バーガー著、教文  
館発行)。毎月第1主日14時半。  
▽一羊会集まり(人権を守るた  
めの対話) 「クリスチャンとし  
て冤罪を考える」狭山事件を通  
して」26日(土)13時、牛込聖公  
会聖バルナバ教会。講師・河野  
淳神父(カトリック横浜司教  
区。照会☎042(393)2  
256・森田麻里子。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

2月に父が逝去し、4月に娘を授かり  
ました。父が生きていれば初孫の誕生を  
喜んだと思いますが、死を遅めたり、誕  
生を早めるということは、意のままには  
出来ることではないと思いま  
す。特に生死に関する頃合い  
は、「全てに時があり」と捉え  
る方が、今は受け入れ易いと感  
じています。  
子を授かったことで、両親が  
私を生み育ててくれた年月を想  
像することが多くなりました。  
親と自分の子の間に私が生きて  
いることを思うと、自身が特別  
人という、色の薄い存在のよう  
にも感じます。  
このように全てに時があると実感し、  
自己を謙虚に見つめていると、人の限界  
の外にあるみ手の中で自分が生かされて

でなかの手記  
目 節

二 郎 英 田 太

いることに気付きます。そして考えてみ  
ると、その瞬間神様の前に自己が曝け出  
されていると感じない訳にはいかな  
いのではないかと思います。自分の無力  
さに絶望するのではなく、安堵  
と共に心に湧き上がるのは、で  
は神様の前で如何に生きるのだ  
ろうか?という問いです。

特に人生の節目には、自分の希  
望とは離れていても、歩むべき道  
が与えられることを感じます。そ  
の度に神様に感謝しなくてはと思  
います。正直に言う、私はこの  
気持ちをお忘れていたことの方が多  
く、思い通りに物事が運ばないと  
すぐ苛々してしましますが、父を  
亡くした今、我が子を見ながら、

私はどのように生きるべきだろうか?と思  
います。

(東京聖マルチン教会信徒)

## 信仰と生活委員会報告 (6月10日)

＊宣教主事報告。  
 ＊各委員会・教会グループ報告。  
 ＊150周年記念聖餐式におけるカンタベリー大主教の説教を分ち合うための方策を検討。  
 ＊信徒奉事者のための研修をリトリートとして行う。他の委員会とも協働の可能性を協議する。  
 ＊『こども聖歌集』編纂のため、各教会・礼拝堂で日曜学校が使用

している聖歌を集めている。  
 ＊8月8～9日の中高生夏のイベントをCOAと信仰と生活委員会共催として了承、内容について協議。  
 ＊その他

▽教役者宿泊研修 21日(月)～23日(水)「聖職位を考える」をテーマに、講師にウイリアムス神学館館長吉田雅人司祭、聖

公 示  
 日本聖公会東京教区第112  
 (臨時) 教区会を下記のように  
 召集します。  
 教主降生2010年6月16日  
 日本聖公会東京教区  
 教区会議長  
 主教ベテロ植田仁太郎  
 記  
 日時：2010年7月19日(月・休)  
 午前9時から午後5時まで  
 場所：開会聖餐式  
 聖アンデレ主教座聖堂  
 議 場  
 聖アンデレ主教座聖堂  
 東京都港区  
 芝公園3-6-18  
 議題：日本聖公会東京教区  
 主教選出の件  
 書記を次のように任命する。  
 司祭ニコラス中川英樹  
 司祭バルナバ菅原裕治  
 以上

公会神学院景山恭子スピリチュアル・ディレクターを迎えて行われる。聖職養成委員会主催、箱根スコレプラザホテル。参加予定教役者は25人。  
 ▽聖職試験公開説教 聖職試験委員会(長・高橋顕司祭主催、司祭試験の一環として24日(木)19時から聖アンデレ主教座聖堂。説教者(司祭志願者)は大森明彦・中村淳尚執事。来聴歓迎。  
 ▽2010フェスティバル「あつまれ！」第1回連絡会 9月20日(月・休)立教女学院を会場に開催される今年のフェスティバルの概要が決まった。同実行委員会は26日(土)14時から聖アンデレホールの連絡会へ各教会・礼拝堂・諸団体などから連絡員の参加を呼びかけている。

## 「クローズアップ」51

長崎・平戸へ

## BSA研修旅行

毎年行われているBSAの研修旅行、今年は5月18日(水)～20日(金)の2泊3日で行われました。昨年は島原から天草へ、一昨年は五島列島でしたし、10年ほど前に天草を訪れていますからこの地方は4回目となります。

1日目長崎空港から1918年に日本二十六聖人殉教者に献堂されたという有名な赤レンガ造りの田平教会を見学、イタリア人宣教師カミロ神父がイギリス、オランダ商船注視の下で火炙りの刑に処せられたという田平焼罪殉教地で一同祈りを捧げました。松浦史料博物館を経て

平戸に投宿。

2日目は生月島博物館で、明治に入り再布教で教会が建てられた様子、潜伏時代の信仰形態を継承して今に至っている部落のことなどを学び、「沈黙」の舞台となった外海地区に廻りまわした。建築や芸術その他様々な技術を伝え、今も住民の尊敬を集めているド・ロ神父の記念館、出津教会、そして遠藤周作文学館を訪れました。

3日目は爆心地の浦上天主堂、日本二十六聖人殉教地、長崎聖三一教会、大浦天主堂、グラバー邸、そして最後の訪問地、復元された出島では日本聖公会最初の神学校の建物に出会うことができました。

この研修旅行は立教中学校の校

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

長先生であった国見登先生が十数年に亘り、キリシタン弾圧の歴史、その遺跡を案内下さり、九州は長崎、熊本その他大分、鹿児島へ、北海道は松前、函館、仙台へは2度、大阪、姫路、徳島、萩津和野、松山など、また都内の遺跡巡りと、BSAの大きな行事として続けられてきました。毎年参加を楽しみにしている方も居られます。今年の参加者26名の内、初参加の方は7名でした。今回から立教高校で教鞭をとっておられた鈴木武次先生がご案内下さることに、来年はテーマを拡げて沖繩訪問が検討されています。

日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)  
 広報担当 永井信行